



# 俳句ゆめクラブ会報

2021年10月26日

第 137 号

全国的にコロナ新規感染者数が激減したのを機会に

6月以来久し振りに県活での句会を開催、13名全員  
が出席でやはり顔を見ての句会は嬉しく、そして人間  
というものは人との繋がりを欲するのだなと納得した。

今回は梅田先生がお持ち頂いた来年度の俳人協会カレ  
ンダー受け渡し、また後期会費の徴収も行われた。

今日の兼題は「秋うらら」、終わってからの話し合い  
で今年は12月の忘年会を中止することとした。

「句会」県活202号室 13時～15時

## 梅田先生の句

裂け柘榴我をば叱咤せることし  
すべり台手をあげる子や秋うらら  
神の留守けふもよき日を賜りぬ

## 梅田先生選

《特選》

蠅螂の鎌振り上ぐる目の怒り  
秋冷の鋭く叫ぶ鴉かな  
藩校のどこも静かやそぞろ寒  
秋うらら屋根にごろんと寝たる猫  
賑やかにどんぐり拾ふ親と子と  
秋うらら白雲湖面に湧くごとし  
秋うらら名札を付けて同窓会

岩松忠子  
浅見法子  
長澤輝子  
岡田時雄  
瀬戸川公子  
大井昭子  
吉澤愛子

竹林に濡れたる仏秋時雨  
古民家の壁の白さや秋うらら  
わが手にて今年も仕上げ松手入

《入選》

秋うららゆくあてもなく車乗る  
黄一色荒地を覆ふ泡立草  
泡立草空地黄に染め猛々し  
秋うらら稲荷山古墳眺め良し  
古刹へと続く小径や萩の風  
渋柿のたわわに実り朱に染まる  
コーヒーのかほりひろがり秋うらら  
朝靄の晴れし庭隅石露の花  
新米や先づは卵のかけご飯  
初鴨の長旅癒しみてしづか  
遠景のゆつくり進む稲刈り機  
いつになく高値なれども秋刀魚買ふ  
六地藏前掛け新秋うらら  
秋うらら妻とふた駅歩きけり  
線路際に鉄道ファン花すすき  
秋うらら長袖一枚にて歩き  
秋うららゆつくりとゆく田舎道  
山路きて夫いつしかに零余子摘み  
運動会見分けのつかぬマスクの子  
農の家熟れたる柿の空に映え  
紅葉谷琵琶の音響く隠れ里

大井昭子  
小林健一郎  
宮島昭夫  
浅見法子  
長澤輝子  
吉澤愛子  
長澤輝子  
大井昭子  
瀬戸川公子  
岩松忠子  
宮島昭夫  
八千代幸男  
小林健一郎  
有村 弘  
鈴木幸恵  
宮島昭夫  
八千代幸男  
岡田時雄  
鈴木幸恵  
有村 弘  
吉澤愛子  
岡田時雄  
有村 弘  
鈴木幸恵

## 互選

別れとは流れゆくもの萩の花  
薄明の庭に輝く石露の花  
訃報あり見上げし空に後の月  
澄み渡る空の青さや秋うらら  
遠ざかる昭和を偲び温め酒

小林健一郎  
浅見法子  
岩松忠子  
瀬戸川公子  
八千代幸男

裂け柘榴我をば叱咤せることし (4票) 梅田ひろし  
古刹へと続く小径や萩の声 (3票) 大井昭子  
神の留守けふもよき日を賜りぬ (3票) 梅田ひろし  
藩校の静寂流れそぞろ寒 (3票) 長澤輝子  
こーひーのかほりひろがりあきうらら (3票) 岩松忠子  
秋うらら屋根にごろんと寝たる猫 (3票) 岡田時雄  
六地藏前かけ新たに秋うらら (4票) 宮島昭夫  
紅葉谷琵琶の音響く隠れ里 (3票) 鈴木幸恵  
竹林に濡れるる仏草の花 (3票) 大井昭子  
田舎家の土塀の白さ秋うらら (3票) 小林健一郎  
訃報聞く見上げし空に後の月 (3票) 岩松忠子  
澄み渡る空の青さや秋うらら (3票) 瀬戸川公子

「決定事項・連絡事項」

・次回句会 11月23日(火) 13時より

県活202号セミナー室

兼題「落葉」

他に自由題で二句、合計三句提出のこと。  
(小林健一郎記)